

JADEC(日本糖尿病協会)福岡(福岡県糖尿病協会)の概要

- 名 称 JADEC 福岡(福岡県糖尿病協会)
- 所在地 〒812-858 福岡県福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号
(事務局) 九州大学大学院 医学研究院 病態機能内科学 第二研究室内(糖尿病研究室)内
電話(FAX)番号 092-631-0656
- 目 的 JADC 福岡(福岡県糖尿病協会)(以下「JADEC 福岡」という)は、公益社団法人日本病協会(以下「JADEC」という)と連携して、広く糖尿病に関する知識の普及啓発を行い県民の健康増進に寄与するとともに、会員の資質の向上と交流を図ることを目的としています。
- 設 立 1960 年(昭和 35 年)4 月 福岡県糖尿病協会(あさひ会)として、全国に先駆けて発足。
1961 年(昭和 36 年)9 月 日本糖尿病協会創立に伴い日本糖尿病協会福岡県支部に。
1987 年(昭和 62 年)3 月 社団法人日本糖尿病協会創立に伴い社団法人日本糖尿病協会福岡県支部に。
2013 年(平成 25 年)4 月 日本糖尿病協会本部の公益社団法人化に伴い、福岡県糖尿病協会(副称:日本糖尿病協会福岡県支部)に。
2024 年(令和 6 年)6 月 日本糖尿病協会の呼称が JADEC になるに伴い、JADEC 福岡(福岡県糖尿病協会)に。
- 役 員 会 長 佐 藤 雄 一 (聖マリア病院 生活習慣センター 特別補佐)
副会長(北九州ブロック長) 藤 本 良 士 (小倉第一病院 副院長・糖尿病内科部長)
同(福岡ブロック長・事務局長) 野 原 栄 (さかえの森クリニック 院長)
同(筑後ブロック長) 赤 司 朋 之 (嶋田病院 内科部長)
同(筑豊ブロック長) 迫 博 康 (済生会飯塚嘉穂病院 顧問)
同(外務担当) 小林邦久(福岡大学筑紫病院 教授 内分泌・糖尿病内科診療部長)
同(内務担当) 大隈俊明(九州大学大学院医学研究院病態機能内科学講師)
- 会員等 ◆会員は、糖尿病のある人及びその家族、糖尿病診療に携わる医療関係者や一般の方々(個人・法人)や企業の方々から構成されています。
◆現在、約 150 の友の会(各地の医療機関ごと)と約 3,300 名の会員を擁しており、47 都道府県の中で友の会の会員数が 2 番目に多い協会となっています。
- 入会等 ◆友の会に入会すれば、自動的に JADEC 福岡、JADEC の会員になります。
◆会費は、友の会によって異なりますが、JADEC 福岡の会費は、3,000 円(本部会費 2,400 円含む)ですが、現在、日糖協本部から地域活動費が交付(当面の間)されているため、年額 2,400 円(全額を本部会費に充当)に据え置いています。
◆会員のメリットとしては、
①月刊誌 糖尿病ライフ「さかえ」(540 円/冊)を毎月無料で読むことができます。(糖尿病療養の最新情報の入手)
②JADEC、JADEC 福岡、友の会主催の糖尿病教室など各種のイベントに参加することができます。(参加による治療の充実と効率化)
③糖尿病のある人・家族会員との各種教室、ウォークラリー、研修旅行等へ参加し、仲間(糖尿病のある人や医療関係者)と交流ができます。(参加・交流により自己

管理の生きた成果を習得できます)

④その他、糖尿病を中心とする健康についての正しい情報が得られます。

■主な活動

○JADEC 福岡の活動を支えているのは、会員及び医師・歯科医師、CDE(糖尿病療養指導士)など医療関係者のボランティア精神です。

○広く県民の方々に糖尿病のことを知っていただくために、各種啓発活動は、原則として県内4ブロック(福岡、北九州、筑後、筑豊)で開催しています。

◆普及啓発活動

○World Diabetes Day(11月14日)を含むダイアベティスウィーク行事として、糖尿病の集い(講演会、血糖自己測定支援、医療・栄養相談、各種展示など)や・World Diabetes Day ブルーライトアップイベントを県内4ブロックで開催しています。

○また、「糖尿病及び合併症予防のための講演会」や「歩いて学ぶダイアベティスウォークラリー」もブロックで開催しています。

○この他、各ブロックや各友の会では、講演会、糖尿病教室、ウォークラリー、研修旅行(宿泊・日帰り)、親睦会、料理教室、笑いヨガなど特色ある取組みを行っています。

◆JADEC 登録医・糖尿病認定医・専門医部会活動(会長 木原康之 常任理事)

糖尿病の治療は、その発症年齢、生活状態、合併症の有無などにより様々で、療養指導やチーム医療の重要性が叫ばれる中、糖尿病の専門医と非専門医や診療科の枠を越えた医師の幅広い連携が求められています。

このような中、JADEC 福岡では、JADEC 登録医・糖尿病認定医制度を発展させるために、2009年6月21日に医師部会を設立し、県内のJADEC 登録医・糖尿病認定医・専門医の相互交流や研修環境を整え、JADEC 糖尿病認定医の取得を目指した「実地医家のための糖尿病セミナー」を県内4ブロックで開催(4地区×4回/2年1クール)しています。

◆福岡県 CDE(糖尿病療養指導士)会(会長 大部正代 常任理事)の支援・連携

1996年から全国に先駆けて、北九州地区、筑後地区、福岡地区、筑豊地区の順に CDEL(地域糖尿病療養指導士)制度を発足し、様々な研修や資格試験を一本化し、質が担保された約2000人がCDELとして認定されています。

看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師など、糖尿病医療に関わるあらゆる職種の方が集まっており、院内では、チームでの糖尿病学習等を行うとともに、JADEC 福岡の活動をはじめ、地域での街頭キャンペーン活動やウォークラリー、糖尿病教室、血糖自己測定支援など糖尿病予防啓発活動に積極的に取り組んでいます。

2008年には、福岡県(北九州・福岡・筑豊・筑後)のCDEの会の取り組みが評価され、第1回糖尿病療養指導鈴木万平賞を受賞しました。

受賞を契機にCDEの知識の更なるレベルアップを図り、糖尿病療養指導士間・ブロック間の相互連携を深めるために福岡県CDEの会が設立(2011.10.10設立)されました。

●福岡県糖尿病対策推進会議構成員としての活動

2005年2月、日本医師会、日本糖尿病学会、日本糖尿病協会の3者は、糖尿病が急激に増加する中、糖尿病対策を積極的に取り組む必要があるとの共通認識のもとに「日本糖尿病対策推進会議」を立ち上げました。

同年、福岡県においても糖尿病患者数が増加する中で、糖尿病有病者の増加を抑制するための方策を協議し、また、地域や職域等それぞれの場面での糖尿病予防対策についての情報交換を行うことを目的に「福岡県糖尿病対策会議」が設立され毎年開催されています。

構成は、現在、福岡県、福岡県保健所長会、福岡県医師会、福岡県歯科医師会、日本糖尿病学会九州支部福岡、JADEC 福岡、学識者経験者で構成しています。具体的な取組みとしては、World Diabetes Day・ブルーライトアップイベントの開催、健康21世紀福岡県大会への参加、県庁ロビー展、糖尿病性腎症重症化予防対策などです。